

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表																					
記入年月日	平成18年4月26日		記入者		連絡先 2603																
部 名	保健福祉部	課 名	保育課		課長名 大村 秀雄																
事務事業名	認可外保育施設支援事業																				
予算上の事務事業名	認可外保育施設支援事業																				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	13110																	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして																				
政 策 名	第3章 子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます																				
基本施策名	第1節 子育て環境づくりの推進				事業開始年度																
施 策 名	第1施策 保育環境の整備・充実				平成17年度 ▼																
2 実施根拠及び関連法令・条例等																					
相模原市届出保育施設助成金交付要綱（H17年4月1日～）																					
3 個別計画の概要			概要																		
計画名																					
計画年次		年度～		年度																	
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)				▼																
5 事業概要																					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)																		
認可外保育施設（児童福祉法第59条の2に該当）に入所している児童においても処遇向上を図る必要性があることから、健康や安全・衛生面での適切な保育水準を確保するために、必要経費の一部を助成する。			認可外保育施設在籍児童、職員等																		
(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。																					
○助成内容（市補助率：2/3）																					
<table border="0"> <tr> <td>・入所児童の健康診断受診料</td> <td>107人</td> <td>=</td> <td>148,200円</td> </tr> <tr> <td>・調理・調乳担当職員の保菌検査料</td> <td>29人</td> <td>=</td> <td>78,600円</td> </tr> <tr> <td>・施設賠償責任保険料</td> <td>11施設</td> <td>=</td> <td>84,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td></td> <td>310,300円</td> </tr> </table>						・入所児童の健康診断受診料	107人	=	148,200円	・調理・調乳担当職員の保菌検査料	29人	=	78,600円	・施設賠償責任保険料	11施設	=	84,000円		計		310,300円
・入所児童の健康診断受診料	107人	=	148,200円																		
・調理・調乳担当職員の保菌検査料	29人	=	78,600円																		
・施設賠償責任保険料	11施設	=	84,000円																		
	計		310,300円																		
6 関連・類似事業や他市の状況																					
大和・座間市等同様の助成を行っている。																					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕																					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度(決算見込)	平成18年度(予算)	平成19年度																
事 業 費	0	0	311	2,298	2,298																
一般財源	0	0	311	2,298	2,298																
受益者負担金	0	0	0	0	0																
その他の特定財源	0	0	0	0	0																
人件費の合計	0	0	805	805	805																
事業コスト合計	0	0	1,116	3,103	3,103																
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率																					
事業名 (または、主たる事業名)	認可外保育施設支援事業			対象名称と単位	実施施設数																
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度																
事業コスト(主たる事業)	0	0	1,116	3,103	3,103																
対象数	0	0	11	23	23																
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	101,455	134,913	134,913																
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.33	1.00																

9 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの					
指標名と単位	実施園数/対象施設数	指標式と指標の説明	全施設数に対する実施園数の割合		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	0.0	0.0	11.0		
目標	0.0	0.0	23.0	23.0	23.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	47.8		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	実施児童・職員数/対象児童、職員の割合	指標式と指標の説明	助成を受けてほしい定員、職員数に対して、17年度の実際に助成を申請した数。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	0.0	0.0	215.0		
目標	0.0	0.0	769.0	769.0	769.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	28.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]: 良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]: 概ね良好な状況である事業				
	[★★★]: 見直しを行う必要がある事業				
	[★]: 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		○助成によって児童等が健康や安全・衛生面での適切な保育水準を確保するために必要な事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
			○事業主1/3の負担や補助基準額(上限額)の見直しが必要。 ○助成事務の簡素化 ○健康診断における医師と暖簾強化		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			